

第一部

『インディーズ・ゲームの世界にようこそ!』



現代は、ソーシャル・メディアの時代と呼ばれます。それは、従来の一方的な情報やデータの流通だけではなく、多くの人たちが各種のソーシャル・メディアを通じて自由に情報を発信／交換し、それによって各種のムーヴメントを起こすことができる時代を指します。中でも「ソーシャル・ゲーム」の人気は高く、ネットワークに接続されたパソコン、スマート・フォンなどで、膨大な数の参加プレーヤーとコミュニケーションしつつ、課題をクリアすることを目指すものなどが広く人気を集めており、今日の主要なエンタテインメントの一つとなっています。

他方、「ソーシャル・ゲーム」は、巨大な商業モデルでもあります。それゆえ、ゲームを進めるために有償のアイテムが多数必要であったり、高額な課金を支払うように誘導するものもあるなど、社会的に問題視される状況にもあります。今回の企画では、2日間にわたり、上記のような「ソーシャル・ゲーム」の現状を念頭において、それとは別の在り方である「インディーズ・ゲーム」を取り上げ、その可能性を探ります。

現代の世相や文化、新しいテクノロジーなどにご興味をお持ちの方々なら、どなたでも楽しんでいただける内容です。皆様のお越しをお待ちしております。



「インディーズ・ゲーム」とは、個人が場面やキャラクターを構成できるオリジナルなゲームです。メジャーなゲームの画一的なストーリーや様々な設定に飽き足らない人たちが制作、公開しています。

今回のイベントの1日目、10月27日には、『インディーズ・ゲームとは何か?』と題して、メジャーな商用ゲームとは別の選択肢である「インディーズ・ゲーム」の多様な世界を、映像を使ったパネル・ディスカッションによってご紹介いたします。

また、2日目、10月28日には、『ゲームとキャラクターは自分で作ろう!』と題したプレゼンテーションで、「インディーズ・ゲーム」の初歩的な制作方法を、具体的に、わかりやすく解説していただきます。



27日
(土)

14:00~16:00

パネル・ディスカッション

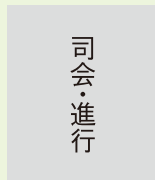
『インディーズ・ゲームとは何か?』



永江 孝規
東京工芸大学芸術学部
インタラクティブメディア学科教授



牧 周作
サウンドプロデューサー



司会進行
箕輪 裕
町田市立国際版画美術館
学芸員

28日
(日)

14:00~16:00

プレゼンテーション

『ゲームとキャラクターは自分で作ろう!』



永江 孝規
東京工芸大学芸術学部インタラクティブメディア学科教授



東京工芸大学芸術学部インタラクティブメディア学科 永江ゼミ

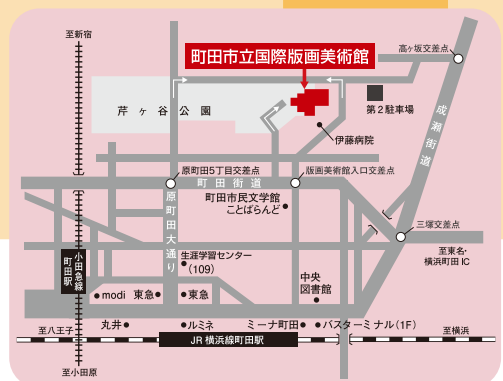
第二部

学生メディア・アート展 2012 11月17日(土)~25日(日)

10:00~17:00

今年で第10回を迎える、町田市立国際版画美術館の「学生メディア・アート展」。大学や大学院で学ぶ若いアーティストたちの、斬新な作品の数々をご覧ください。来場者が操作することができる体験型の作品もありますので、お子様からお年寄りまでお楽しみいただけます。

11月23日(金・祝) 10:00~17:00 「作者による作品プレゼンテーション」



町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 tel. 042-726-2771/0860
小田急線 / JR 横浜線町田駅より徒歩15分 <http://hanga-museum.jp/>